

施策評価シート（令和2年度実績）

施策名 23 潤いのある環境を守り生かす

		施策コード	030023
1. 施策の体系と担当課			
第5次総合計画	将来像	3 みんなでつくる 安全・安心で快適に暮らせるまち	
主管課	都市整備部 道路公園課		
関係課	都市整備部 農林課, 教育部 社会教育課		

2. 施策の目標	
10年後の目標	
市民の参加により、豊かな自然が守られ、生物多様性が確保されているとともに、公園や緑地などの身近な潤い空間が管理され、まち全体が美しく保たれることで、誰もが潤いを感じることができる環境が整っている。	
10年後の目標に向かっての主な取組み	
市の取組み	
<p>○「緑の基本計画」を改定し、公園施設の統合を含め、現状に即した効率的な公園の整備、維持・管理を行う。</p> <p>○自然環境の保護につながる市民活動への積極的な支援を行うとともに、自然環境保護意識の向上のため、地域と連携し、環境学習の機会を増やす。</p> <p>○公益財団法人大阪みどりのトラスト協会とともにブナ林の保護増殖を進める。</p> <p>○都市部のため池オアシスを充実させ、市民の憩いの場となるよう整備する。</p> <p>○環境美化活動及びアドプト・プログラムに、より多くの市民や団体及び事業所等に参加してもらうよう、周知、啓発に努めるとともに継続的な活動につなげる。</p> <p>○国の都市農業振興基本計画に基づき、都市農地を貴重な緑地として位置づけ、担い手への支援や市民農園の推進等により、都市農地の保全に取り組む。</p> <p>○自然遊学館の行事として、魅力ある自然観察会や自然環境保護に興味を持つ人を増やす講座を充実し、環境保全に取り組む人材を育成する。</p>	
市民・団体・事業所等の取組み	
<p>○自然保護のためのボランティア活動へ積極的に参加する。</p> <p>○地域コミュニティ活動の一環として、市と連携して公園や道路の管理に長期的に取り組む。</p> <p>○農業者とともに行う清掃美化活動などを通じ、貴重な空間である都市部の農地やため池の保全に努める。</p> <p>○市民農園での農作業体験などを通じ、農業への理解を深める。</p> <p>○団体等は近木川や海浜部の環境保全活動に大阪府、市と連携して取り組む。</p>	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
平成29年5月に「都市緑地法等の一部を改正する法律」が公布され、都市緑地法においては、緑地の定義に「農地」が位置づけられたほか、生産緑地法では、生産緑地地区の面積要件の引き下げや特定生産緑地制度が創設された。	
新たな市民ニーズ	
公園・緑地などのオープンスペースは市民が憩える場であり、今後、多様な利活用を推進していくため、行政、市民、民間事業者が参画した新たな公園づくりが求められている。	

4. 施策にかかるコスト		単位	R元予算	R元決算	R2予算	R2決算	R3予算	
コストの内訳	投入人員	正職員数		4.85		4.03		
		会計年度任用職員数	人		0.0		1.0	
	人件費	直接人件費			25,271		26,402	
		間接人件費			6,170		4,683	
		直接事業費	千円	109,753	108,491	108,492	106,938	112,117
間接事業費			635		1,021			
フルコスト		109,753	140,567	108,492	139,044	112,117		
財源内訳	使用料及び手数料		864	0	606	0	595	
	国庫支出金							
	府支出金		1,220	1,145	1,137	1,254	1,144	
	市債		2,500	1,900	0	0	0	
	その他		2,321	36,177	193	34,542	229	
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		102,848	101,345	106,556	103,248	110,149	
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		102,848	69,269	106,556	71,142	110,149	
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1		アドプト・プログラム事業参加団体数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
団体	令和5年度	5	増加	4	4	5	5
成果指標2		公園施設更新率					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
%	令和5年度	22.5	維持	22.4	21.3	22.2	22.3
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和2年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性	所見	
				人件費						
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込)			
アドプト・プログラム事業 (道公)	認定箇所数			113	105	129	241	成果	A：向上を図る	市民や事業所等の参画による街路の環境美化活動を推進する。
	R2実績	4	箇所	975	616	275	/	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
環境美化事業 (道公)	環境美化ゴミ泥土回収量			3,221	3,292	3,404	6,765	成果	B：現状維持	町会・自治会と連携し、環境美化事業に今後も継続して取り組んでいく。
	R2実績	121	トン	3,264	4,272	3,465	/	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
公園維持補修事業 (道公)	各公園等の除草、清掃、剪定、遊具修理などの件数			88,150	85,549	86,365	87,804	成果	B：現状維持	公園の清掃・除草や遊具の点検を行い、市民が快適で安全に公園を利用できるように維持管理に努める。
	R2実績	2,467	件	13,542	9,095	10,625	/	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
公園緑地整備事業 (道公)	施設整備公園数			4,112	6,669	4,587	5,000	成果	A：向上を図る	市民が利用したいと思えるような魅力ある公園整備を目指す。
	R2実績	1	件	3,237	4,929	1,616	/	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
公園緑地管理事業 (道公)	自治会等管理児童遊園、緑地等の面積（100㎡四捨五入）			4,588	5,245	5,005	4,744	成果	B：現状維持	市民との協働、民間活力を利用した都市公園の管理について検討を進める必要がある。
	R2実績	37,100	㎡	4,859	3,514	4,491	/	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
緑化推進事業 (道公)	緑化推進に伴う活動件数			2,362	2,745	2,315	2,382	成果	B：現状維持	市民参画による緑化推進事業を継続して行う。
	R2実績	4	件数	1,939	1,747	1,565	/	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
ため池オアシス維持管理事業 (農林)	ため池オアシス箇所数			2,104	2,184	2,201	2,231	成果	B：現状維持	ため池の有する多面的な機能を発揮するため、最小限の経費で今後とも市民の憩いの場としてため池オアシスを維持して行く必要がある。
	R2実績	2	箇所	883	1,796	1,138	/	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
国定公園内環境保全事業 (農林)	公園内清掃活動回数			1,436	1,447	1,672	1,690	成果	B：現状維持	府や地元町会などと連携しながら、自然環境を保全していくことが必要である。
	R2実績	120	回	1,200	4,020	3,938	/	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									
和泉葛城山ブナ林保護増殖事業 (社教)	イベント参加人数			1,250	1,255	1,260	1,260	成果	A：向上を図る	令和3年3月に策定した「和泉葛城山ブナ林10ヵ年計画」に基づき、長期的な視野・計画をもって、保全管理を行っていく。
	R2実績	0	人	2,626	1,452	3,972	/	資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率									

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	概ね達成されている。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	市民・企業との協働を推進する。

8. 今後の方向性
<p>市民や民間企業との協働により、本市が有する山林・ため池・河川などの豊かな自然を保全するとともに、都市部における公園や緑地、水辺などの空間を適切に管理し、市民が潤いを感じれるようなまちづくりに努める。</p>